

特別展

# 堀内誠一 子どもの世界

SEIICHI HORIUCHI  
Where Children Come to Life in Pictures

2026年7月4日(土) - 9月6日(日)

開館時間 ▶ 9:30 - 17:00 (入場は16:30まで)

休館日 ▶ 月曜日 / ただし7月20日(月)は開館 / 7月21日(火)は休館

観覧料 ▶ 一般700(550)円 / 65歳以上の方・高大生450(350)円 / 小中生300(200)円

・( )内は10名以上の団体料金およびファミリー割引の料金  
ファミリー割引=成人(学生を除く)と子ども(小中高生)ご一緒にの観覧

・学校の教育活動の一環として観覧する小中高生等と引率教員、身体障害者手帳等をお持ちの方と介添者等は観覧無料となります。詳細は文学館までお問い合わせください。

主催 ▶ 北海道立文学館 / 公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者) / 北海道新聞社

後援 ▶ 札幌市 / 札幌市教育委員会 特別協力 ▶ 堀内事務所 企画協力 ▶ アートキッチン

協力 ▶ 札幌第一こどものとも社 / ちいさなえほんや ひだまり



| 中島公園 | 北海道立文学館 特別展示室

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

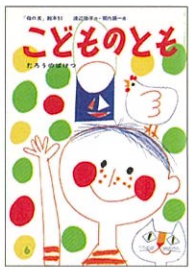
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4 tel: 011-511-7655 fax: 011-511-3266

<https://www.h-bungaku.or.jp/>

©Seichi Horiuchi

「おでかけ」1963 『ぐるんぱのようちえん』1965  
「いらいばんじいさん」1969 『かげ』1970  
「の(まをうあに)いたはりこ」1985 (すべて紙分)





『たろうのぼけつ』1960年  
作:渡辺桂子 絵:堀内誠一



『たろうのおでかけ』1963年  
作:村山桂子 絵:堀内誠一



『たろうのともだち』1967年  
作:村山桂子 絵:堀内誠一



『たろうのひっこし』1983年  
作:村山桂子 絵:堀内誠一



『ぐるんぱのようちえん』1965年  
作:西内ミナミ 絵:堀内誠一



『かげ』1970年  
作:中川正文 絵:堀内誠一

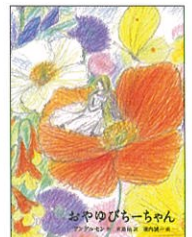


『ほね』1974年  
作:堀内誠一



『どうくつをたんけんする』  
1985年 作:堀内誠一

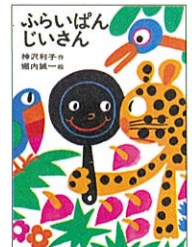
『ぐるんぱのようちえん』など、数多くの絵本を世に残した堀内誠一。日本で子どもたちのための出版が盛んになった1950年代後半にデビューした堀内は、生涯で約80冊の絵本、70冊にのぼる挿絵本を手がけました。その多彩な作品を紐解けば、戦後、どのような絵本が生まれ出されていったのか、そんな歴史も見えてきます。『たろう』シリーズをはじめ、子どもが自分の意志を持って活躍する物語を堀内はいきいきと描き出しました。本展では堀内による子どもをめぐる物語に着目します。さらに札幌での開催を記念し、『ふらいばんじいさん』など、北海道ゆかりの作家、神沢利子との共作も特集展示します。子どもたちが輝き、努力し、空想し、冒険する、絵本の世界をお楽しみください。



『おやゆびちゃん』1967年  
作:アンデルセン  
訳:木島 始 絵:堀内誠一



『マザー・グースのうた』1975年  
訳:谷川俊太郎 絵:堀内誠一



『ふらいばんじいさん』1969年  
作:神沢利子 絵:堀内誠一

### 絵本原画 約100点 貴重な資料などを展示します

- 第1章 はじまる子どもたちのストーリー**  
『たろうのぼけつ』『たろうのともだち』『たろうのおでかけ』『たろうのひっこし』
- 第2章 子どもたちの目線、発見の物語**  
『おおきくなるの』『ぐるんぱのようちえん』『こぶたのまーち』『ひでちゃんのにつき』  
\*『ぐるんぱのようちえん』は複製原画での展示となります。
- 第3章 ファンタジーのうたごえ**  
『わらべうた』『マザー・グースのうた』
- 第4章 好奇心と冒険の世界**  
『てとゆび』『かげ』『ちのはなし』『はしる』『ほね』『めのはなし』『音楽だいすき』『どうくつをたんけんする』

**札幌会場 特別展示**  
『てんのくぎをうちにいった はりっこ』  
『ふらいばんじいさん』『銀のほのおの国』



堀内誠一  
Seiichi Horiuchi



1932年東京生まれ。絵本作家として物語の意図を最も良い形で子どもたちに伝えようと画風、画材を工夫し、多彩な作品を数多く残した。デザイナー、アートディレクターとしても活躍。『anan』『BRUTUS』など、雑誌のアートディレクション、ロゴデザイン、本の装丁やポスターのデザインなども手がけた。1973年から81年にかけて家族とともにパリに暮らし、世界を巡っては写真を撮り、旅先の風景や街の地図を描くなど多様な表現に取り組んだ。1987年、54歳にて逝去。

### 会期中のイベント

#### ■ トークイベント

父と絵のこと 子どもたちへのまなざし  
堀内誠一の創作活動や旅先で子どもたちを撮った写真について長女の花子さんから話をうかがいます。  
日時: 7月4日(土) 14:00-15:30  
会場: 当館講堂(無料)  
トーク: 堀内花子氏(堀内誠一 長女)  
聞き手: 林綾野氏(本展キュレーター)  
要申込: 6月17日(水) 9:00から電話受付(先着順/定員60名)

#### ■ 読み聞かせ

『ぐるんぱのようちえん』『たろうのおでかけ』ほか  
日時: 7月18日(土)・8月15日(土)  
8月29日(土)・8月30日(日)  
各日とも11:00-11:20  
会場: 当館地下ロビー(無料)  
申込不要(先着順/各回20名)

#### ■ 常設展のご案内 北海道の文学 (通年開催)

北の大地に育まれた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示。  
観覧料: 一般500(400)円/高大学生250(200)円  
\*( )内は10名以上の団体およびファミリー割引の料金。中学生以下・65歳以上無料。高校生は土曜日無料。詳細はお問い合わせください。  
〈常設展 文学館アーカイブ〉  
『芥川龍之介の北海道講演旅行』7月4日(土)-9月6日(日)  
[次回特別展のご案内]  
生誕120年・戦後80年 辻村もと子展 11月7日(土)-2027年1月17日(日) 予定

#### ■ ワークショップ\*

ぐるぐる回るモビール作り  
堀内誠一の絵本『ぐるんぱのようちえん』『ふらいばんじいさん』などの絵柄を切り出してモビールを作ります。  
日時: 7月5日(日) 14:00-16:00  
会場: 当館講堂(無料)  
講師: 堀内紅子氏(堀内誠一 次女)  
要申込: 6月19日(金) 9:00から電話受付(先着順/定員10組)  
\*年長~小学生(保護者同伴)が対象です。

#### ■ ブックトーク

子どもと一緒に楽しもう『堀内誠一の絵本』  
『ぐるんぱ』だけではなく堀内誠一の絵本の世界を紹介。  
日時: 8月1日(土) 11:00-12:00  
会場: 当館講堂(無料)  
講師: 横田由紀子氏(元札幌大谷大学短期大学部教授)  
要申込: 7月15日(水) 9:00から電話受付(先着順/定員60名)

#### ■ 簡単工作\*

「いつまでたっても終わらない」お話しをつくろう!  
堀内誠一の案・絵による簡単工作を楽しみましょう。  
日時: 7月19日(日) 11:00-11:30/13:00-13:30  
7月31日(金) 11:00-11:30  
8月9日(日) 11:00-11:30  
会場: 当館講堂(無料)  
要申込: 当館HPの申込フォームより受付  
開催日の2週間前締切(抽選/各回15組)  
\*年長~小学生(保護者同伴)が対象です。

#### ■ 展示みどころ解説講座

日時: 8月16日(日) 14:00-15:00  
会場: 当館講堂(無料)  
講師: 当館学芸員  
要申込: 7月29日(水) 9:00から電話受付(先着順/定員60名)  
\*のイベントは傷害保険加入のため氏名・年齢・電話番号の保険会社への提供をご了承下さい。

### |中島公園| 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4  
tel: 011-511-7655 fax: 011-511-3266  
<https://www.h-bungaku.or.jp/>



施設設置者: 北海道教育委員会(教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課(代)011-231-4111)  
指定管理者: 公益財団法人北海道文学館



フェイスブック・X・Instagramでも情報発信中!